

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場会社名 株式会社 ナカヨ通信機

上場取引所 東

コード番号 6715 URL <http://www.nyc.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長兼CEO (氏名) 谷本 佳己

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 管理統括本部長 (氏名) 飯島 貞夫

TEL 027-253-1006

四半期報告書提出予定日 平成22年2月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,176	△17.1	△136	—	△56	—	△189	—
21年3月期第3四半期	11,063	—	△540	—	△457	—	△700	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△8.62	—
21年3月期第3四半期	△31.84	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	16,840	12,907	76.5	585.71
21年3月期	17,865	13,217	73.8	598.97

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 12,886百万円 21年3月期 13,181百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
22年3月期	—	0.00	—		
22年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,100	△12.3	130	—	200	—	40	—	1.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	23,974,816株	21年3月期	23,974,816株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,973,618株	21年3月期	1,967,846株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	22,003,593株	21年3月期第3四半期	22,012,791株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、平成22年2月12日現在の入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実施の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の底入れ感を背景に緩やかな回復基調にあるものの、企業業績の低迷や雇用情勢の悪化、設備投資の抑制、個人消費の低迷など、国内景気の先行き不安が払拭されておらず、依然として厳しい状況が続いております。

当通信機器業界におきましては、NGN（ネクスト・ジェネレーション・ネットワーク）を始めとした光ネットワークの進展に伴い、音声通話からデータ、画像通信など通信サービスの多様化・高度化により、事業環境が大きく変化しつつあります。

このような状況下で当社グループでは、システムソリューションとしての製品提案に注力するとともに、顧客のニーズを第一に考えた新製品開発に取り組んでまいりました。ビジネスソリューションにおきましては、主力のビジネスホンのハイブリッドタイプの新シリーズに、従来から培ってきた機能に省スペース設計と先進の省電力モード、電話機エコモードを搭載、携帯電話ブラウザとの連携等のIP機能を充実させ、光ネクスト直収対応とセンサ付電話機を追加いたしました。コンシューマソリューションにおきましては、各種無人装置の管理等で使用されるPHSモジュール事業が堅調に推移しております。

一方、経営体質の強化を図るため、パート社員・契約社員の配置の見直し、取締役・全従業員の給料カット、設備投資の抑制等による固定費の削減や、諸経費の削減を引き続き実施するとともに、営業力の強化、新製品開発の効率化、製品品質の向上、工場部門のトータルコストダウン活動の強化等を継続して推進しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,176百万円(前年同期比17.1%減)、営業損失136百万円(前年同期は営業損失540百万円)、経常損失56百万円(前年同期は経常損失457百万円)、四半期純損失189百万円(前年同期は四半期純損失700百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間の事業部門別販売実績

(単位：百万円, 切捨て表示)

期 別 事業部門別	前第3四半期 連結累計期間 H20.4.1~H20.12.31		当第3四半期 連結累計期間 H21.4.1~H21.12.31		対前年同期比 %
	売上高	構成比	売上高	構成比	
	ビジネスソリューション	6,580	59.5	5,302	57.8
コンシューマソリューション	728	6.6	1,369	14.9	87.9
ネットワークソリューション	1,759	15.9	935	10.2	△ 46.9
サービス&サポート	1,994	18.0	1,569	17.1	△ 21.3
合 計	11,063	100.0	9,176	100.0	△ 17.1
(うち輸出高)	( 76 )	( 0.7 )	( 43 )	( 0.5 )	(△ 43.0)

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

#### 【資産】

総資産は前連結会計年度末に比べ1,024百万円減少し、16,840百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、10,285百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加386百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少449百万円あったこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ933百万円減少し、6,555百万円となりました。これは主に、長期預金の減少355百万円があったこと等によるものです。

#### 【負債】

負債は前連結会計年度末に比べ713百万円減少し、3,933百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ382百万円減少し、2,855百万円となりました。これは主に、未払金の減少239百万円、賞与引当金の減少89百万円があったこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ331百万円減少し、1,078百万円となりました。これは主に、長期未払金の減少207百万円、退職給付引当金の減少86百万円があったこと等によるものです。

#### 【純資産】

純資産は前連結会計年度末に比べ310百万円減少し、12,907百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少255百万円があったこと等によるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ388百万円増加し、5,044百万円となりました。

#### 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ392百万円減少し、385百万円(前年同期比50.4%減)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額276百万円、長期未払金の減少額207百万円があったものの、売上債権の減少額449百万円、ソフトウェア償却費373百万円があったこと等によるものです。

#### 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは、82百万円(前年同期の投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは523百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出253百万円があったものの、定期預金の払戻による収入425百万円があったこと等によるものです。

#### 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは、79百万円(前年同期の財務活動によって得られたキャッシュ・フローは10百万円)となりました。これは主に配当金の支払額67百万円があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績がほぼ計画どおりに進捗しているため現段階では、平成21年11月12日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切り下げにあたっては、収益性が低下していることが明らかな棚卸資産についてのみ正味売却価格を見積り、簿価切下げを行っております。

② 税金費用の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係

前第3四半期連結累計期間において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「配当金の支払額」は重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記することとしております。なお、前第3四半期連結累計期間の「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「配当金の支払額」は△2百万円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,703	3,317
受取手形及び売掛金	3,704	4,154
有価証券	1,415	1,413
商品及び製品	496	414
仕掛品	352	222
原材料及び貯蔵品	479	414
その他	140	448
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	10,285	10,377
固定資産		
有形固定資産	2,010	2,025
無形固定資産	817	982
投資その他の資産		
投資有価証券	2,022	2,297
その他	1,705	2,183
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	3,727	4,479
固定資産合計	6,555	7,488
資産合計	16,840	17,865
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,889	1,945
短期借入金	40	40
未払法人税等	15	30
製品保証引当金	96	121
賞与引当金	43	132
その他	770	968
流動負債合計	2,855	3,238
固定負債		
退職給付引当金	68	155
役員退職慰労引当金	26	49
負ののれん	74	92
その他	908	1,111
固定負債合計	1,078	1,409
負債合計	3,933	4,647

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,909	4,909
資本剰余金	4,510	4,510
利益剰余金	3,783	4,039
自己株式	△411	△410
株主資本合計	12,792	13,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	94	132
評価・換算差額等合計	94	132
少数株主持分	20	36
純資産合計	12,907	13,217
負債純資産合計	16,840	17,865

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	11,063	9,176
売上原価	8,930	7,235
売上総利益	2,133	1,940
販売費及び一般管理費	2,673	2,077
営業損失(△)	△540	△136
営業外収益		
受取利息	24	16
受取配当金	40	35
負ののれん償却額	17	17
その他	38	31
営業外収益合計	120	101
営業外費用		
支払利息	2	1
支払手数料	26	18
為替差損	8	—
その他	0	1
営業外費用合計	37	21
経常損失(△)	△457	△56
特別利益		
固定資産売却益	42	—
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	42	2
特別損失		
固定資産廃棄損	32	14
投資有価証券評価損	60	—
特別損失合計	92	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△507	△67
法人税、住民税及び事業税	16	13
法人税等調整額	182	105
法人税等合計	198	118
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4	3
四半期純損失(△)	△700	△189

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△507	△67
減価償却費	304	268
ソフトウェア償却費	377	373
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△124	△89
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△16	△24
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2	△86
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△171	△23
受取利息及び受取配当金	△65	△52
投資有価証券評価損益(△は益)	60	—
固定資産売却損益(△は益)	△42	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,057	449
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205	△276
仕入債務の増減額(△は減少)	△324	△56
長期未払金の増減額(△は減少)	15	△207
その他	△524	105
小計	827	309
利息及び配当金の受取額	65	52
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△112	△26
法人税等の還付額	0	51
営業活動によるキャッシュ・フロー	778	385
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△88	△69
定期預金の払戻による収入	145	425
有形固定資産の取得による支出	△329	△253
ソフトウェアの取得による支出	△298	△208
投資有価証券の償還による収入	—	200
その他	47	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△523	82
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	14	—
配当金の支払額	—	△67
その他	△3	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	10	△79
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	265	388
現金及び現金同等物の期首残高	4,508	4,655
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	109	—

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,884	5,044

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

当社及び連結グループは有線および無線通信機器に関する製造販売の単一事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報については該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結グループは有線および無線通信機器に関する製造販売の単一事業を営んでおり、事業の種類別セグメント情報については該当事項はありません。

**【所在地別セグメント情報】**

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。